

私は

福島県モノづくり企業の多様性

が好き!

機械

ハイテクプラザ 電子・機械技術部
機械・加工科

平成26年度採用

わたしを表すKEY WORD

#一児の父

一歳半の女の子の父親として育児、家事、仕事に奮闘中です。育児休暇制度を活用し、育児、家事にも積極的に関わることができました。

#卓球

職員同士で作る卓球クラブに参加しています。年に一度、職員による大会を目標に練習を積みました。クラブでの活動は、自分の部署以外の方ともつながることができる貴重な場となっています。



↑卓球クラブでの様子

#田村市

#計測

#野球



[職歴]

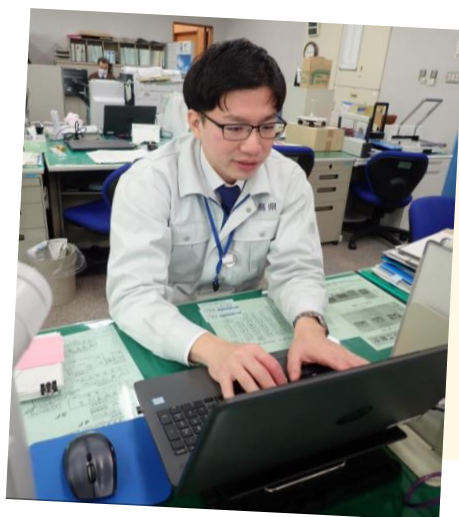
H26～ ハイテクプラザ
いわき技術支援センター 機械・材料科
H31～ ハイテクプラザ 企画連携部 産学連携科

R3～ ハイテクプラザ 企画連携部 企画管理科
R4～ ハイテクプラザ 企画連携部 企画科
R5～ハイテクプラザ 電子・機械技術部
機械・加工科

県内モノづくり企業の技術の悩み解決に貢献!

ハイテクプラザは、県内企業のモノづくりに関する技術的な課題解決を支援するための試験研究機関です。

企業が抱える悩みは、多種多様です。職員として技術力向上のための努力が不可欠で、入庁後も学びの日々です。一つ一つ課題に取り組み、企業の課題解決や製品開発に貢献でき、直接、感謝されることは大きなやりがいです。



県職員を目指した理由

東日本大震災発生時、大学在学中で千葉県におり、家族や地元のために何もできなかったことから、自分のできることで少しでも復興の力になりたいと考えたためです。

技術系公務員として、大学で学んだことも活かせると考えました。

とある一日のスケジュール

8:30	始業
9:00	企業からの問合せメールの確認等
10:45	加工実験 (企業からの課題)
12:00	昼休み

13:00	加工物の形状測定
16:00	加工部の顕微鏡観察
17:15	終業

休暇制度を有効活用できたエピソード

子供が生まれた際、配偶者出産休暇、育児休暇、育児休業を併用することで1か月の休暇を取得し、最も大変な時期に子育てに参加することができました。

この他、通常の年次有給休暇に加え、年間7日付与される子育て休暇を活用することで、子供の通院等に対応でき、とても助かりました。



福島県職員として、実現したいこと・目標としていること



多くの人が働く県内モノづくり企業の抱える課題を解決し、企業の新たな製品開発等に貢献することが、県内の産業振興の助けになると考えています。

そして県内企業が発展・持続していくことが、福島県の人口減少への対策や地域振興の助けになると思います。

受験者へメッセージ

ハイテクプラザでは、大学で学んだ技術に関する知識、技術への興味関心が直接業務に活かせる魅力的な職場です。職場見学など大歓迎です。是非、一度足を運んでください。